



アセスメントにおける行動観察 (2)

著者	酒井 均
雑誌名	筑紫女学園大学研究紀要
号	14
ページ	111-121
発行年	2019-01-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1219/00000984/

アセスメントにおける行動観察(2)

酒 井 均

Behavior Observation in Intelligence Test Assessment (part 2)

Hitoshi SAKAI

筑紫女学園大学研究紀要 第14号別刷

2019年1月

福岡県太宰府市石坂

Reprinted from *Journal of Chikushi Jogakuen University*

No. 14, pp. 111 – 121, January 2019

Ishizaka, Dazaifu-shi,

Fukuoka-ken, Japan

アセスメントにおける行動観察(2)

酒 井 均

Behavior Observation in Intelligence Test Assessment (part 2)

Hitoshi SAKAI

1. はじめに

前回（酒井、2018）において、2歳台までの課題について、各課題における観察ポイントを述べてきた。ここでは3歳から6歳台までの各課題における観察ポイントについて述べる。

2. 行動観察のポイント（各項目）

《 3歳台の問題 》

第25問（語彙（絵））

- ・発音はどうか。
構音の問題はないか、あるとしたらどのような問題か。
年齢に不釣り合いな幼児語が残っていないか。
- ・動作で示そうとしないか。
例えば「かさ」の絵の時にかさを開く真似をして示そうとしてないか。
- ・実物で示そうとしていないか。
例えば「手」の絵の時、テスターに向かって手を突き出して示そうとしないか。
もしくは「靴」の時自分の履いていた靴を見せて示そうとしていないかなど。
- ・どのような失敗があったのか。
日常生活で慣れ親しんでいるものは言えるが、そうでないものは難しいのか。
まちがって答えていないか。（うま→しまうま、うしなど）

第26問（小鳥の絵の完成）

- ・鉛筆の持ち方はどうか。

鉛筆をどのように持っていたか、上手に持っていたか、握り込んでいたかなど。
また、持ち方を修正したらちゃんと書けているか。

- ・書いた線はどうか。

筆圧はどうか。
線はすっと引けているか、ぎざぎざか。

- ・書いたものはどうか。

余分な物は書いていないか。（羽や足など、しかもその書き方はどうか、例えば足は2本か4本か）
鳥の輪郭を無視して、好き勝手に書いているのか、もしそうであるならどのようなものを書いているのか。

第27問（短文の復唱）

- ・やり方をすぐに理解できたか。

一度で理解し復唱できたのか、何回か指示しないと復唱できなかったか。
もしくは、最後まで指示が理解できなかったのか。

- ・復唱の仕方はどうだったか。

きちんと復唱ができたのか、最後の単語のみ復唱していないか。または余分な補足はなかったか。

（さかなが、およいでいます→さかなが3匹およいでいでね）

助詞のみが抜けているのか。

（さかなが、およいでいます→さかな、およいでいます）

- ・発音の様子はどうかであったか。

年齢に不釣り合いな発音の幼さが残っていないか。

第28問（属性による物の指示）

- ・視線の動かし方はどうか。

名称を言われたときにどのように図版を見ているのか、全体を把握しているのか、一つひとつ

確認するように見ているのか。

- ・指示に従って指さししているのか。

自分勝手に指さしていないか、その時言葉が伴っているかどうか。

- ・どのような失敗をしたのか。

興味あるもののみ指せたのか、日常生活の中で使われているもののみ指せたのか。

第29問（位置の記憶）

- ・犬と自動車に注目できているか。

注意がちゃんと犬と自動車に向いているのか。

自分が興味あるもののみ注目するのか。

- ・物を取ろうとしないか。

指示を聞く前から手が出ないか。手が出た場合も、制止によって止めることができたか。

また、止めたにもかかわらず、何度も手が出ていないか。

- ・置き方はどうか。

指示通りにおけるか、勝手に遊びださないか。

遊んでいる時、独り言が出ていないか。

第30問（数概念（2個））

- ・数唱ができるか。

指さして一つずつ数えることができるか。間違えたとしたら、どんな間違いか。

- ・数の概念ができているか。

4個のチップスから2個取る時に、手を出していると全部取ってしまうなど2個の概念がしっかりできていない。特に数唱はきちんとできる時には注意。

第31問（物の定義）

- ・動作で示そうとしないか。

帽子→かぶる真似をするなど。

- ・指示が理解できているか。

帽子→赤い帽子など帽子の自分の知っている様子を述べる。また、質問を繰り返すと、今度は青い帽子などと言い換ええないか。

- ・答え方はどうか。

帽子→“暑いときに頭にかぶってね、そうしたらお外に行っても大丈夫だからね”のように次々に連想していくように続けていくなど。

第32問（絵の異同弁別）

- ・同じ、異なるということがわかっているのか。

すべて同じ、もしくはすべて異なると答えていないか。

書いてある物の名称のみ答えていないか。

- ・特定の物のみまちがえてないか。

他はきちんと答えられているのに車のみ同じと答えるなど。

特定の物の特徴は何か。

第33問（理解（基本的生活習慣））

- ・答え方はどうか。

単語のみで答えてないか。（のどがかわいたらどうしますか？→お茶

おしっこしたくなったらどうします？→トイレなど）

- ・問題を理解しているかどうか。

第34問（円を描く）

- ・クレヨンの持ち方はどうか。

クレヨンをどのように持っていたか、上手に持っていたか、握り込んでいたかなど。

- ・線の書き方はどうであったか。

スムーズに引いていたのか、若干揺れた感じで引いていたのか。

- ・円の形はどうか。

きちんと閉じているか、ゆがんでないかなど。

- ・余分なものは書いていないか。
円を描いた後、目などを入れていないか。または別のものを書き足していないか。

第35問（反対類推（A））

- ・反対類推の意味が分かっているかどうか。
例をきちんと捉えられているかどうか。
- ・答え方はどうか。
的確に短く答えられているか。
余分な付け足しはないか。（冬は寒くてストーブつけてなど）
最後の単語にとらわれていないか。（お父さんは男、お母さんは？→家にいますなど）
- ・どの項目がまちがえたのか。
人に関することができたのか日常生活に関することができたのかなど。
- ・まちがいの内容はどうか。

第36問（数概念（3個））

- ・数唱ができるか。
指さして一つずつ数えることができるか。間違えたとしたら、どんな間違いか。
- ・数の概念ができていないか。
3個はしっかり数えることができたが、足して3個にする意味が分かっているかどうか。

《 4歳台の問題 》

第37問（語彙（絵））

第25問と同じ

第38問（順序の記憶）

- ・どれくらい覚えているのか。
最初の質問の時、どれを覚えているのか。（3つとも言えた、前二つは大丈夫だったが最後は

言えなかったなど)

後の質問の時はどうだったか。(最初はできたが、次の質問に答えられなかった、またはまちがえたなど)

・視線の動きはどうだったか。

・衝動的に手が出なかったか。

トンネルをさっと外そうとしなかったか、トンネルの中をのぞきこもうとしなかったかなど。

第39問 (理解 (身体機能))

・答え方はどうか。

まちがいがどのようなものであったか。(目は何をするものですか→つぶるもの)

(目は何をするものですか→目薬する)

めがねをかけているテストの顔を見て(目は何をするものですか→めがねするもの)

第40問 (数概念 (1対1の対応))

・注意の持続はどうか。

途中まできちんと数えているのに最後の方でずれてしまっているなど。

・操作の正確さはどうか。

1対1対応に合わせて指を使って操作できているか。

・第30問(数概念(2個))と第36問(数概念(3個))はできているかどうか。

場合によってはチップを使って再確認しても良い。

第41問 (長方形の組み合わせ)

・問題を理解しているか。

勝手に見本とあわせて家などを作らないかなど。

・操作はどうか。

スムーズに2枚の三角を扱っているか。

・試行錯誤の具合はどうか。

すぐにあきらめてしまうのか、粘り強く組み立てようとするのか。
できてもできたと認識せず、崩してしまって作ろうとするなど。

第42問（反対類推（B））

- ・ 反対類推の意味が分かっているかどうか。
例をきちんと捉えられているかどうか。
- ・ 答え方はどうか
的確に短く答えられているか。
余分な付け足しはないか。（野原は明るい、森は→暗くて冷たくて怖いなど）
最後の単語にとらわれていないか。（ぞうは重たい、ねずみは？→ちいさい、走るなど）

《 5歳台の問題 》

第43問（数概念（10個まで））

- ・ 数の概念はどうか。
いくつまでは正確にできたか。3個まではさっとできたが、6個からは数えていたなどの方略はどうであったか、6個からも反射的に取ってしまいまちがえたなど。
- ・ 積み木を並べるのにこだわりが見らなかったか。
端からきちんと並べるなどのこだわりはなかったかなど。
- ・ 半分という指示がわかっているか。

第44問（絵の不合理的）

- ・ 視線の動かし方はどうか。
全体をさっと見渡せているのか、下から徐々に見ていっているのか。
- ・ 的確に不合理的部分を見つけることができたのか。
別の物にこだわって不合理的部分を見つけられない。（カレーライスのスプーン→カレーの皿を指しておかしい→再質問→カップを指しておかしいなど）
- ・ 不合理的部分の説明ができていないか、できてなければどのような失敗か。

まったく言語化できない、“おかしい”のみを繰り返す、言えるが的確ではないなど。

第45問（三角形模写）

- ・鉛筆の持ち方はどうか。
鉛筆をどのように持っていたか、上手に持っていたか、握り込んでいたかなど。
- ・線の書き方はどうであったか。
スムーズに引いていたのか、若干揺れた感じで引いていたのか。
- ・三角形の形はどうか。
きちんと閉じているか、角があるかなど。
- ・余分なものは書いていないか。
別のものを書き足していないか。
- ・回数ごとの変化。
書くごとに上手になっている、最後がいい加減に書いているなど。

第46問（絵の欠所発見）

- ・指示に従っているか。
指示する前から勝手に名称を言っていないか。
- ・失敗はどのようなものか。
馬のみがわからなかった、全部わからなかったなど。

第47問（模倣によるひもとおし）

- ・指示をまたずに行動しないか。
勝手にひもで遊びだす、さっさと玉を入れ始めるなど。
- ・ひもとおしの仕方かどうか。
モデルを無視して勝手に入れているか、操作が丁寧か、雑か。
- ・視線の動かし方かどうか。

モデルを一回、一回確認している、目の動かし方がスムーズなど。

- ・注意の持続はどうか。

視線と合わせて、途中の玉が抜けていないか。

- ・確認後の行動はどうか。

確認した時、間違いに気付いた場合どのような行動をとったか。

(あきらめた、時間がかかっても修正したなど)

第48問 (左右の弁別)

- ・失敗の仕方はどうか。

全部逆に指示したのか、それとも一つのみ間違えたのか。

《 6歳台の問題 》

第49問 (絵の不合理)

第44問と同じ

第50問 (曜日)

- ・曜日を理解しているか。

- ・曜日の確かめ方の方略はどうか。

月曜日から順に言っていき確認しているのか、スムーズに曜日が出てくるのか。

第51問 (ひし形模写)

- ・鉛筆の持ち方はどうか。

鉛筆をどのように持っていたか、上手に持っていたか、握り込んでいたかなど。

- ・線の書き方はどうであったか。

スムーズに引いていたのか、若干揺れた感じで引いていたのか。

- ・ひし形の形はどうか。

きちんと閉じているか、角があるかなど。

・余分なものは書いていないか。

別のものを書き足していないか。

・回数ごとの変化。

書くごとに上手になっている、最後がいい加減に書いている、途中であきらめるなど。

第52問（理解（問題場面への対応））

・どのような間違いをしているか。

第53問（数の比較）

・数えることができても、比較がきちんとできているか。

一番目の問いに答えられても、次からの比較でつまづいていないか。

第54問（打数数え）

・聞き取りはどうか。

聞き取りが悪く適当に答えていないか。

・集中力はどうか。

1、2回目はよかったが、3回目は適当に答える。もしくは、1回目は失敗したが、2、3回目はきちんと答えられるなど

3. おわりに

前回（酒井、2018）1歳から2歳台までの田中ビネー検査Vの行動観察ポイントを検査項目ごとに述べた。今回はそれに続き3歳から6歳台までの検査項目について述べていった。繰り返すが、これは、筆者の個人的な経験からまとめていったもので公式なものではない。

また、この観察ポイントをどのように生かしていくかについてはここでは述べていない。これからどのように子どもの状態把握に生かしていくかを述べ、それをどう支援に結びつけるかを述べることとする。

参考文献

- 酒井均（2018）アセスメントにおける行動観察(1)、筑紫女学園大学紀要13号、125頁～135頁
- 田中ビネー知能検査V（実施マニュアル、理論マニュアル）（2003）、財団法人田中教育研究所（編）、田研出版株式会社

（さかい ひとし：人間科学科 心理・社会福祉専攻 教授）

